

## 世界選手権ウザバレポート

近藤 久美子 (CE133)

第16回熱気球世界選手権にウザバとして参加させていただきました。ここでは競技の詳細ではなく、大会やウザバの日々などざっくりしたものを紹介させていただきます。

### 1) Miludura ってどこ？

オーストラリア大陸の東南海岸に位置するメルボルンから西北へ550km、アデレードから北東へ400kmに位置します。往路メルボルンからパイル班用のレンタカーで陸走したのですが、100km/h平均で走って7時間弱。メルボルンを離れて最初の大きな街でした。郊外にはぶどう畑が荒野、農作物の刈取跡らしきフィールドが広がり、ステップ気候帯の風景が果てしなく広がっていました。街のつくりは、道路軸が東に45°振れて碁盤の様に整備され、マレー川付近の旧市街と幹線道路沿いのマーケットタウンに大別されます。旧市街はメインの通りを挟んで東西・南北各4筋程度の規模で歩いてまわるにちょうどよい大きさでした。

### 2) 天気

今回結果として4ナイト(8日間)、11タスク+1ナイト(キレース)というお天気には恵まれないう大会でした。これは雨でなく強風によるキャンセルで、晴天にもかかわらず飛べない(フェスタ気球は飛んでいる時もありましたが)というのはなかなか辛いものでした。この強風も大会が終れば好転するという何とも皮肉な天候でした。ご存じの通り、南半球はこれから冬になるということで朝晩は冷え込み、昼間も日差しは強いものの上着なしでは肌寒い天気が続きました。

### 3) ウザバ

ウザバキットとして、地図ボード・ジャケット・スプレー缶、マグジャーとGPSは持参者以外に貸出されました。キットとしてGPSの貸出はなく、GPSがあれば不要との判断のようです。大会中に交差点のGPSコードネットが配布されました。表中のコードしか使えないというのではなく、この表にある交差点のGPS計測は不要という位置づけでした。貸出されたマグジャーは、両面印刷。つまり、片面m、片面ft表示というものでした。「紛らわしいですね。」と大会終了後、某副directorに話しをしたら目を丸くしていらっしやいました。1つ間違えば結果が3倍になりかねないですから。ジャケットは黄色のベストタイプで反射シール付きのものでした。交差点での計測時には外に安全確認を要求すること、昼間でもONである間は着用することがアウツされました。

### 4) 本部

職業訓練学校が大会本部になり、ネットルーム・テプリーフィングルーム・ウザバルーム(後述)・ウザバプリーフィングルーム・オフィシャルの宿泊は建物を利用し、プリーフィングテント・フードテント・出店テントが敷地内に設営されました。

プリーフィングテント内は2枚のスクリーンが天井より吊され、気象情報・パイルレポート・タスク説明をするディレクターの姿等が映し出されました。パイロット1名に対し1800\*900程度の机(コパネ+脚、パイチェア3つ付き)が割り当てられ、3者が地図・GPS・ノートPC等を広げるには十分なスペース

スでした。雑壇側には参加国の国旗、通路上部には地元の子供達で作った気球がディスプレイされ、殺伐としがちなテントに賑わいを与え我々の目を楽しませてくれました。(写真1)

#### 5) 食べること、飲むこと、寝ること

ウヅバ-に用意された宿泊はモーター・ホテル・寮の3ヶ所で、多くのウヅバ-は旧市街の端にあるモーターでした。モーターは3人で1部屋を使用し、キッチン・ランドリーは共用でした。朝・昼の食事の提供はありましたが、夜の食事提供がなかったため、このキッチンでカナルパスタ(カナル肉はスーパーで普通に売っていました)を作った夜もありました。宿泊先と本部が3km程度離れており、朝はバスサービスがあるものの、キャンセルになった時などは帰りの足の確保に苦労しました。バスサービスの運行もアバウトで人が集まれば出発する感じでした。ただ、お願いするとルートはずれたボート乗り場(マレー川の川下り)まで乗せていってくれましたが、いろいろな意味で『おおらか』な国だなという印象です。

#### 6) 地元のボランティア

デブリーフィングルームに隣接してウヅバ-ルームがありました。25㎡くらいの建物でキッチン設備があり、ここには地元ウヅバ-を始め、ボランティアの方々がホームメイドのお菓子を持ち寄り、カフェのような空間でした。デブリーフィングの前後やキャンセルになった時などにウヅバ-が立ち寄り、お菓子やおしゃべりを楽しんでいました。デブリーフィングの夜食の提供もここで準備されていました。地元の人々はキャンセルの時に車を出し、国立公園ツアーをコーディネートしてくれたり、帰りの飛行場までのピックアップサービスをアレンジしてくれたり、大会側の『おおらか』な部分をサポート(メイトと言っても過言でないくらい)してくれたことはとても助かり、嬉しいことでした。

最後に、FINターゲットに列をなしてアプローチする気球群、朝霧が晴れるにしたがって離陸する気球群を上空から見られた事、荒野でのマーカー捜査に途方に暮れた事、ターゲットのあったキレ-スをランチャイルドで見られた事など充実そして素敵な日々でした。今回ウヅバ-で参加させていただいた事をとても嬉しく思います。